

「AIが生み出す偽論文の脅威

～ハゲタカジャーナル問題と対策を考える～

主催：図書館分科会

▶ 1. 開催日時・場所

日時：2025年7月31日（木）14:00 – 16:30

(会場受付は13:30から開始いたします)

会場：キャンパスプラザ京都 or オンライン(Webex)

▶ 2. 概要

AI技術、データ活用、オープンアクセス、そしてデジタルトランスフォーメーションの進展により、大学図書館の運営にはこれらの技術とアプローチが欠かせないものとなっています。2025年度の図書館分科会ではこれらのテーマの中から生成AI技術を取り上げます。

近年、掲載料を目的に十分な査読を行わずに論文を受理する粗悪な学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）が問題となっています。今回はオープンアクセスや粗悪な学術雑誌についてのご造詣が深い、同志社大学）佐藤 翔 先生にご講演いただき、生成AIを悪用して作成された偽論文の事例を踏まえ、学術分野における生成AIのメリット・デメリットについて考えていきたいと思います。

また、富士通Japan株式会社より、大学図書館におけるAI活用ユースケースをご紹介し、これらの大学図書館でのAI活用を考えていきたいと思います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

▶ 3. スケジュール・内容

※スケジュール、内容等に関しては変更になる場合がございます。

14:00 ○開会挨拶

○ご講演（90分）

「学術情報流通における生成AIの活用・悪用・問題利用」

同志社大学 免許資格課程センター 図書館司書課程 教授 佐藤 翔 様

【講演概要】

機械生成・AIによる論文作成は学術情報流通がいずれ向き合うことになる課題と考えられてきたが、生成AI技術の進展によりついにその時が訪れた。研究者の間でAIの活用は急速に進む一方、不適切なAIの利用や、AIによる偽論文の生成・公表といった問題利用・悪用事例も増えている。本講演ではこうした事例もまじえつつ、AI技術が今後どのような影響をもたらしうるのかを検討していく。

○質疑応答（10分）

○休憩（10分）

○ご紹介（30分）

「大学図書館におけるAI活用ユースケースのご紹介」

富士通Japan株式会社 P&E事業本部 ビジネス変革室 前 彩佳 様

16:30 ○質疑応答（10分）

○閉会挨拶

【情報交換会（懇親会）へのお誘い】

17時00分より2時間、京都駅周辺にて懇親会（参加費：4,000円）を予定しております。
ぜひご参加いただき、交流を広げ、深める機会としてご活用いただけますと幸いです。

▶ 4.お申込み・お問合せ先

【参加費】 分科会：無料

情報交換会(懇親会)： 4,000円 (参加希望の方のみ)

【参加対象】 CS研・IS研会員校・会員企業の方

CS研・IS研会員校以外の大学の教職員の方

【申込期限】 7月24日（木）まで

【申込URL】 下記URLよりお申込みをお願いいたします。

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/121436>



※ お申込みの際は、以下の3つの参加形式の中から 1つ をお選びください。

- 会場参加 + 懇親会参加
- 会場参加のみ
- オンライン参加

(会場の収容人数の関係で、会場参加のお申込み多数の場合、
オンラインでのご参加をお願いさせていただく場合がございます。)

<対面（会場）でご参加の方>

■ **場所** : キャンパスプラザ京都 6階 第4講習室

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939



■ **アクセス** : <https://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

【京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線】「京都駅」より徒歩5分

<オンラインでご参加の方>

開催日前日までにe-mailにて参加URLをご連絡いたします。

- ※ 参加に必要な物 パソコン、インターネット回線、
「聞く・話す」の両方が使える、ヘッドセットもしくはイヤホンマイク等
- ※ 当日はWebex Meetings (Cisco社) を使用いたします。
- ※ ご利用の環境により、接続や音声に不具合が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ】

私立大学キャンパスシステム研究会 事務局

E-mail contact-csisken@cs.jp.fujitsu.com